

令和5年度 豊中市総合計画審議会(第2部会)

第1回会議 議事要旨

【日 時】 令和5年(2023年)10月17日(火)18時00分~20時00分

【場 所】 第二庁舎4階第一会議室、ZoomによるWEB会議

【出席者】 有川委員(オンライン)、加藤委員、壬生委員(オンライン)、吉村委員、八木委員

【事務局】 豊床都市経営部長

都市経営部経営戦略課：森田、田中、高橋、島、松田、麻田、大重

【傍 聴】 なし

【案 件】 1. 2023年度(2022年度実施分)政策評価結果の施策シートについて
2. その他

【資 料】 ○ 次第

○ 【資料1】 令和5年度(2023年度)政策評価結果概要

○ 【資料2】 令和5年度(2023年度)政策評価結果(施策シート)

○ 【資料3】 令和5年度(2023年度)政策評価結果(施策の方向性シート)

○ 【参考1】 第4次豊中市総合計画(本編)

○ 【参考2】 第4次豊中市総合計画(概要版)

○ 【参考3】 第4次豊中市総合計画前期基本計画 行政評価指針

○ 【参考4】 政策評価の考え方とチェックポイント

○ 【参考5】 令和5年度(2023年度)政策評価結果 用語集

【会議録】 下記のとおり

■開会

■成立要件の確認(事務局)

本審議会規則第7条第2項に基づき、会議の成立には委員の過半数の出席を必要としています。本日は、委員総数5名中、すべての委員の出席がありましたので、成立要件を満たしております。

また本日、傍聴者はいらっしゃいません。

■資料の確認(事務局)

■案件 1. 2023 年度(2022 年度実施分)政策評価結果の施策シートについて

部会長

それでは案件に入りたいと思います。案件 1 について事務局から説明をお願いします。

事務局

(【資料 2】令和 5 年度(2023 年度)政策評価結果(施策シート)について説明)

部会長

まず、第 3 章からです。第 3 章の 1「快適な都市環境の保全・創造」のシートです。

全体の印象は、最終年度ですので、A がほとんどを占めていることは、評価としては、いいのではないのでしょうか。一方で、第 3 章 1(1)の施策の方向性シートの評価は、コロナの影響もあるかと思いますが、指標が未達成です。特に、イベントにかかわる指標が未達成になっています。環境学習やイベントを実施することで成果が上がったと記載されていますが、イベントは参加者数が確保される必要があります。未達成であるならば、まだまだ代替政策を考えるべきであり、A 評価とはできないと思います。

次に、第 3 章 1(3)の施策の方向性シートの指標についてですが、生活環境を改善するため航空機騒音は重要な部分だと思いますが、指標の数値に変化がありません。また、大気汚染の指標についても、当初の目標に対して、未達成になっており、これも A と評価しがたいと思います。

委員

第 3 章 1(1)の施策の方向性シートについてです。環境学習の推進や啓発は、ターゲットが設定され、それに応じた形で事業展開がされると思いますが、どんな市民が学んだのかがよく分かりません。想定している人たちに、コロナ禍であっても、啓発の授業が届けられたのかどうか気になります。その観点でも、PDCA を回し、振り返りをしていただきたいと思います。もし、そうされているのであれば、シートにしっかり記載いただくと、より具体的に評価できるのではないかと思います。

また、第 3 章 1(2)の施策の方向性シートについてです。成果の○2 つ目の 3 行目に、「公園の存在効果や利用効果を引き出し、公園の魅力向上に繋がった」と記載されていますが、なにを根拠に存在効果や利用効果を引き出すことができたのか説明がありません。判断の根拠になる数字や情報があるといいのではないのでしょうか。

部会長

第 3 章 1(1)の施策の方向性シートの指標「環境に関するイベントの参加者数」は 2022 年度の数値がありません。当初目標は、4 万 5000 人で、2021 年は 6000 人、2020 年は 2000 人であり、指標が未達成となっています。

委員

指標が未達成な中でも、例えば、限られた資源を投入したことにより、効果があったことなどの説明をできたらいいと思います。様々なターゲットを対象にした啓発やイベントの参加者数や開催数を合算してしまうと、それぞれの特徴が薄れてしまい、方向性が見えなくなってしまうところがあります。やはり、分析ということであれば、いろんな切り口で切り分けて、説明できるようにしたほうがいいのではないかと思います。

部会長

第3章1(1)の施策の方向性シートの「総合的な仕組みづくり」とは、どういうことなのでしょう。また、この中で様々なイベントをやっていると思いますが、どういう層をターゲットにしているのでしょうか。

事務局

環境学習は、メインターゲットは子どもや子連れの親子です。また、第3章1の施策でいきますと、例えば、千里中央公園、民間連携による公園整備を進めています。ただ、ご指摘のとおり、これらの取り組みによる成果を数値面で評価できているかというこのシートには欠けていると思います。

委員

わかりました。

部会長

環境学習の意義は、リアルに現場で、環境問題を体験したり勉強したりすることで、非常に大きな視点で学ぶことができることだと思います。そのため、環境学習や啓発に関するイベントを実施されるのはいいことですが、そのイベントに人が来ていないことは、課題としてとらえる必要があります。

各施策の方向性シートで設定する指標がなぜ達成できなかったのかを、分析し報告する必要があると思います。これは全体に通じて言えることになりませんが、指標の達成・未達成について触れたうえで、ABCの評価をしていただきたいと思います。

次に第3章の2「低炭素・循環型社会の構築」のシートです。このシートにつきまして、ご質問・ご意見はございませんか。

委員

この施策シートは、現在進行中の議題になるため、目標値に対して達成・未達成も必要ですが、課題がもう少し示され、それに対する具体的な施策を示したほうが良いのではないのでしょうか。

低炭素・循環型社会の実現に向けて、市がどこまで市民の生活に立ち入って、支援をするかは、補助金や予算の部分がかかわってくるため、具体的に示すことは難しいと思います。ただ、もう少し課題と方向性を示したほうがわかりやすいと思います。

具体的には、施策シート〇一つ目に、市民向けにスマートハウス等支援補助金交付制度を実施したと

記載がありますが、それ以外に、低炭素社会の実現に向けて、どんな施策があったのでしょうか。第3章2(1)の施策の方向性シートの今後の方針には、市施設のLED化や公用車の電動化等の取組みを進めると示されています。ただ、現時点の成果として、例えば、ハイブリット車や電気自動車の購入に対する補助金、省エネ家電購入の際の補助金など、取り組んだこととその成果を具体的に記載いただけると、より課題が見えてくるのではないかと思います。

部会長

第3章2(1)の施策の方向性シートの影響度の大きかった事業は3つあります。いずれも、地球温暖化計画対策実行計画に基づき実施した取組みが示されています。目標値を確定したこと、それに向けて実現可能性調査を実施したこと、それからカーボンオフセット事業や自然体験学習に取り組んだことが示されています。また、指標には温室効果ガス排出量が示されていますが、すぐ結果は出ないでしょう。ですから、書き方としては、抽象的な部分や不明瞭な部分がありますが、目標に対してやったことは示されているように思います。

委員

例えば、東京都では、電動化自動車に対する補助金や太陽光発電設置に対する補助金などがあります。かなり先進的な都市がある一方、そうでないところもあり、日本国内の中でも取組みには温度差があると思います。

豊中市は2050年までにゼロカーボンシティを目指すのであれば、現時点での課題と必要な取組みが分かれば、市民としては、ありがたいと思います。市民の方も興味を持たれていると思うので、もう少し詳しく書き込んでいただき、方向性や狙いが見えてくるといいです。

部会長

こういった補助金は予算の上限もありますが、上限に到達したのであれば、市民の方にも活用していただいたことを成果にするには一つだと思います。その点では、もう少し具体的に記載できるといいと思います。もう少し市民に対して、PRのコメントが出せるといいと思います。

また、成果をより膨らませるためには、影響度が大きかった事業を見直し、整合をとることも必要だと思います。

委員

今ご指摘にあったように、もう少し具体的に記載された方が市民目線でわかりやすいと思います。第3章2(1)の施策の方向性シートの指標は2022年度の数値は出ないのでしょうか。

事務局

はい。基本的には集計のタイミング上、毎年、1年前のデータを次の年に更新をしています。

委員

わかりました。第3章2(2)の施策の方向性シートの成果にはごみ量の減少について記載されています。総合評価としてAとするのであれば、もう少し具体的な数値で根拠を示していただくとわかりやすいと思います。

部会長

Aをつけているのであれば、特に説明責任を果たす必要があると思います。第3章(2)1の指標は1年遅れの数値ということで、今年度抜けていますが趨勢でわかるのであれば、評価ができるのではないのでしょうか。

また、小さなことにはなりますが、第3章2の施策シートの担当部局と関連部局に環境部が連名で書かれています。ただ、他のところ見ると、関連部局が空欄の箇所があります。記載を統一していただければと思います。

委員

第3章2(1)の施策の方向性シートについてです。成果〇3つ目に「電力の地産地消可能性調査を実施し、事業実施に向けた基礎資料を作成しました」とありますが、基礎資料を作成され、具体的な施策にどういった影響を及ぼしているかが見えません。この基礎資料は具体的な施策に使われているのでしょうか。

事務局

電力の地産地消の可能性調査では、公共施設に太陽光発電設備をつけられないかなどの調査をしているところです。すでに、つけているところがありますが、非常に重たく、屋上等に置くには負荷が大きくて置けなかった施設があります。そこで、こういった調査をすることによって、今の技術であれば、置くことができないかを調査し、実施項目を洗い出した段階です。

委員

具体的な事例が出たことは、成果だと思いますが、であれば、いくつか事例を出された方がわかりやすいと思います。基礎調査をすることによって、前に進みつつあることが分かればいいのではないのでしょうか。

部会長

基礎調査は、最初にこのようにしたいという目標があり、その目標の実現可能性があるかどうかを調査するものです。そのため、基礎調査した結果、駄目だったのか、条件つきで進めるのか、或いは、問題なく目標達成できるのかなど結論を示していただければと思います。

次に第3章の3「都市基盤の充実」のシートです。

委員

第3章3(1)の施策の方向性シートの指標についてです。「下水道管路老朽化対策達成率」が達成できていません。Aと評価するのであれば、未達成の理由も記載されたいと思います。

部会長

「下水道管路老朽化対策達成率」は5年間でこれだけ進んでいるということは、成果としてよいと思います。この分野は、100%達成はなかなか難しい部分があると思います。ただ、目標未達成である以上、その理由を説明いただければと思います。

委員

第3章3の施策シートについてです。○一つ目に、コンクリートブロック塀撤去補助について記載があります。これは大阪北部地震でのブロック塀の倒壊事故がきっかけだと思いますが、豊中市が所有するブロック塀の撤去等の交換はもう確実に終わっているのでしょうか。

事務局

すべて終わっています。

委員

わかりました。市民の立場からすると、関心が高い部分かと思いますので、もし書けるようでしたら、市有施設はすべて対応済みで、民間のものについては補助金等による対応を継続的にしている旨を記載いただくといいのではないのでしょうか。市がやっていることをもう少しPRされるといいのではないのでしょうか。

部会長

第3章3(3)の施策の方向性シートについてです。影響度が大きかった事業が「交通対策事業」のみで内容も抽象的でわかりづらいです。成果のところも、「公共交通改善計画」に基づく取組みは記載されていますが、具体的な成果が記載されていません。もう少し具体的に記載いただきたいと思います。また、今後の方針も、抽象的な書きぶりになっており、何をするのがわからないです。

マイカーに頼らなくても移動できる交通体系の整備は、東西軸のバスの影響が大きいのでしょうか。

事務局

高速道路や鉄道、空港もあり交通利便性が高い立地特性ではありますが、市域南側の脆弱な公共交通網や市内の西部地域等に、いわゆる交通空白地・交通不便地が存在するなど課題がありました。そこで、デマンド型乗り合いタクシーや、東西軸バスの運行を行っています。また、乗り捨てができるレンタサイクルのスポットを市内各所置いています。これらの取組みで、Aという評価になっています。ただご指摘にもあった通り、施策の方向性シートにはもう少し詳細に記載する必要があったかと思います。

部会長

シートには記載がありますので、特に影響度の大きかった事業に記載されたいと思います。

委員

東西軸の交通は民間事業者を巻き込みながら進めていただくことで大きな成果が出せると思います。ぜひそのあたりも記載いただければと思います。

部会長

次に第3章の4「魅力的な住環境の形成」のシートです。このシートにつきまして、ご質問・ご意見はございませんか。

第3章4(1)の施策の方向性シートの指標（市内主要駅の乗降客数など）を見ると、コロナの影響はあると思いますが、すべて目標値が未達成です。

委員

一般企業からしますと、やはり在宅がかなり定常化しているため、そういう意味では、鉄道駅の乗降客数は維持できているのではないかと思います。

部会長

ただ、指標未達成なことには何も触れていませんので、未達成の理由について説明いただければと思います。施策シートについても同様です。

委員

第3章4(1)では、大阪国際空港を活かしたまちづくりに取り組んでいると思います。市内に空港がありますので、大阪国際空港はもっと、フレキシブルに有効活用していただきたいと思います。

事務局

大阪国際空港を活かしたまちづくりでは、現在飛行機を真下から観賞できる原田緩衝緑地の整備を進めています。これまで整備が進んでいませんでしたが、魅力的スポットとなるよう、整備を進めています。

委員

間近で飛行機を見ることができるところがあり、それを商品化されるのは非常にいいアイデアだと思います。また、大阪国際空港から最近では地方へ走る長距離バスのターミナルも増えています。大阪国際空港はハブの位置付けとして、有効活用できればいいと思います。

また、第3章4(1)の施策の方向性シートの問題点・今後想定される事項についてです。○一つ目に、「少子高齢化等の社会情勢により」と問題提起されています。ただ、施策シート全体として課題が見えません。魅力的なまちづくりのためには、少子高齢化の問題に対する取組みは必要です。そのため、施

策全体の課題に包括されるといいのではないのでしょうか。

部会長

第3章4(1)の施策の方向性シートの問題点・今後想定される事項、○一つ目の少子高齢化の問題に対する取組みとして住宅確保用配慮者の取組みが記載されていますが、少し結び付かないように思いますがいかがでしょうか。

事務局

住宅確保用配慮者の取組みは非常に福祉的側面も入っています。例えば、生活保護を受給されている方の場合、なぜ生活保護になっているのかというと、経済的な面だけでなく、精神的な面や様々な要素を含んでいるケースがあり、一つの切り口でなかなか問題を解決できないこともあります。こういったケースには、住宅がセーフティネットの一つになっています。少子高齢化により、複合的な課題を抱えた人が増えていることもあり、このように記載しています。

部会長

次に第3章の5「産業振興の充実」のシートです。このシートにつきまして、ご質問・ご意見はございませんか。

委員

第3章5(2)の施策の方向性シートに新たな事業の創出担い手の育成について記載があります。担い手の育成は必要ですが、市内に事業所が約13000あるのであれば、事業継承を行っておられる事業所が多いと思います。その中で、後継者不足は問題に上がると思います。新たな事業を開拓することは非常に大事ですが、後継者問題も力を入れてやっていただくといいと思います。豊中市は多くの事業所を抱えており、そういったインフラが消えていくのは財産がなくなることにつながると思います。

委員

後継者問題は非常に大きな問題あり、難しい問題です。また、創業支援と一言でいっても、事業を行うということはかなり難しいことです。勉強すればできるという見え方になってしまっていないか、注意が必要だと思います。

部会長

準関連部局のような位置づけで商工会議所にお力添えいただくといいのではないのでしょうか。いわゆる基礎自治体においては、産業振興は商工会議所さんが担っています。

また、第3章5(2)の指標の開業率が空欄ですが、ここは代替え指標等で、測ることはできないのでしょうか。加えて、廃業率も指標に上げるといいのではないのでしょうか。

事務局

この指標は、国の経済センサスに基づいており 5 年に 1 回の調査になっています。開業の状況を代替指標で取れないかというところにつきましては、担当課に確認させていただきます。

部会長

第 3 章 5(2)施策の方向性シートの指標「起業に関する相談件数」は 139 回と記載されていますが、成果の 2 行目には 157 回と記載されており、整合が取れていません。統計のとり方が違うのかもしれませんが、確認いただければと思います。また、第 3 章 5 は全体として、少し成果が見えてこないように思います。

ここから第 4 章です。第 4 章の 1「共に生きる平和なまちづくり」のシートにつきまして、ご質問・ご意見はございませんか。

委員

施策シートの二つ目の○が第 4 章 1(2)の施策の方向性シートの人権分野のことだと思いますが、施策の方向性シートの評価が B であるにもかかわらず、施策シートでの説明がこの 2 行だけでは、足りないと思います。第 4 章 1(2)の施策の方向性のシートでは、指標の相談件数が目標未達成になっていることなどに触れて、問題点が記載されていますので、施策シートの方にも B とした理由を記載いただきたいと思います。

部会長

第 4 章 1(4)の施策の方向性シートの指標は、2022 年の目標値に対して、ほとんど未達成です。その点について、施策シートの総合評価で触れてほしいと思います。一方、指標の 4 番目の「国際交流センターによるイベント・講座への参加者数」は大幅に達成しています。コロナ禍でもやり方はあるという事例だと思います。A という評価に対しては、アカウンタビリティを持って、指標を使って説明いただきたいと思います。

次に第 4 章の 2「市民文化の創造」のシートです。このシートにつきまして、ご質問・ご意見はございませんか。

委員

施策シートの○3 つ目の郷土資料館の開館についてです。11 月に開館されて、3 月までの来館者が 3000 人に超えたと記載いただいているのですが、3000 人が多いのか少ないのか、この文章からは読み取れません。多いということだと思いますが、何か比較を出すなどしていただいた方が成果として市民にも伝わりやすいのではないかなと思います。

基本的に数字を出すときは、評価者がその数字をどう評価しているのかが、わかるような使い方をすることが望ましいと思います。

委員

第4章2(1)の問題点・今後想定される事項の○2つ目は、「子どもたちに親しんでもらう」ことや「市内小中学単位での利用促進に向けて周知方法を検討」と示されており、子どもへの取組みや周知啓発を課題設定されていますが、施策シートを見ると、その内容に触れられていません。施策シートと施策の方向性シートの課題設定がずれているように思います。

事務局

おっしゃっていただいている通り、3000人は多いということを伝えなかったのですが、比較対象や基準となるものを示せるとより分かりやすかったのかと思います。

また、子どもをターゲットとした取組みですが、文化芸術を次世代に伝えていくというところで、小学校との連携で授業出前授業や郷土資料館の活用を進める必要があると課題認識していますが、施策シートの方には示されていませんでしたので、記載が必要かと思います。

部会長

次に第4章の3「健康と生きがいのづくりの推進」のシートです。

施策シートの○1つ目と2つ目ですが、取組みの記載されており、成果が記載されていません。また、第4章3(1)の施策の方向性シートを見ると、取組み内容はより細かく書かれていますが、成果の内容が具体的に伝わってきません。加えて、指標も多くは達成できていません。未達成であれば、代替するもので、理由を説明して欲しいと思います。この施策全般に共通するところですが、押し並べて指標、目標値が達成されていません。Aとは評価しがたいと思います。

委員

図書館の例で言いますと、書籍のインターネット予約をよく利用しています。インターネットで受け取る先の図書館を選択し、そこに期限までに行けば予約した本が受け取れます。電子書籍だけではなく、この5年間をとおして工夫されたことを前面に出していただけたらいいと思います。豊中市の図書館は頑張っておられると思います。

部会長

図書館のネットワーク化は多くの自治体で取り入れられていると思いますが、実際にインターネットで申し込む人が少ないように思います。

また、第4章3(2)の施策の方向性シートについてです。影響度の大きかった事業を見ると、「地域の通いの場づくり支援事業」、「柴原体育館整備事業」の二つを挙げられています。それに対する成果として、成果の○一つ目にICTを活用した介護予防の取組みに関する文章が記載されていますが、関連がわかりかねます。

事務局

「地域の通いの場づくり支援事業」のパワーアップ体操は、地域で自主グループを作り、介護予防に取り組むことで、健康寿命を上げることを目的としています。これまで、介護予防として進めてきましたが、あまり科学的健康的エビデンスに則っていなかったというところを課題感としてとらえていました。そのため、ICTを活用し、データに基づいた介護予防していくということを、成果の欄には記載しています。

部会長

成果に挙げるのであれば、ICTを活用した介護予防を行うことでの参加者の健康上の変化を示すなど、エビデンスを示していただくといいと思います。また、今後の方針に、「データに基づいた介護予防を実施することで、今後の方針に大きく、寄与した」などを書いていただければ、成果としてあげられるのではないかと思います。

委員

こういう活動は、保健所は関係していないのでしょうか。

事務局

介護予防に関しては、福祉部の地域包括支援センターという、主に高齢者を対象とした総合相談や介護予防を実施している機関が担っており、この事業は福祉部が所管しています。

部会長

部局横断的に、横ぐしで成果をあげていただければと思います。

■案件2. その他

(連絡事項「今後の日程について」説明)

部会長

すべて終了いたしましたので、これをもちまして豊中市総合計画審議会第1回第二部会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

(以上)